

平成29年度
IST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム
『中国とロシアのユーラシアアジア戦略と中央アジアの対応』
－「一帯一路」と「ユーラシア経済同盟」－

平成12年(2000年)11月にスタートした「IST・中央ユーラシア調査会」は、21世紀以降の世界の動向を左右するアジアユーラシアの政治・経済情勢を的確に把握すべく、地域専門家、外交官、ジャーナリスト等が集まり、非公開ですでに150回以上の研究会を重ねてきました。さらに、そのエッセンスを年一回の公開シンポジウムで報告し、研究会の先見性とも合わせて、シンポジウムに参加された方々からも高い評価を得てきております。

今、「大航海時代」以来続いてきた「海の国の時代」が、英国、米国の「自国第一主義化」によって終焉し、中国、ロシアを中心とする「陸の国の時代」に向いつつあるとの見方があります。今後の、インドとインドネシアの台頭を織り込むと必ずしも一直線の「陸の国時代」に進むことにはならないかもしれませんが、習近平国家主席の「一帯一路」路線とプーチン大統領の「ユーラシア経済同盟」戦略は時代の先行きに大きな影響を与えるものであることは間違いありません。

そこで、本シンポジウムでは、「一帯一路」路線と「ユーラシア共同体」戦略の実現性・将来性に光を当て、その間に挟まれる「中央アジア」の現状と対応及び日本の「中央アジア外交」についてそれぞれの専門家に登場して頂き、議論を深めて参りたいと考えます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※詳細は以下プログラムをご参照ください。

記

1. 日 時：平成30年2月14日(水) 13:00~16:00 (受付開始12:30)
2. 場 所：東海大学校友会館 「阿蘇の間」
千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル35階 TEL:03-3581-0121
(地下鉄銀座線虎ノ門駅5番または11番出口より徒歩3分)
3. 講 師：袴田 茂樹氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
田中 哲二氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
高原 明生氏 東京大学 大学院 法学政治学研究科 教授
田口 精一郎氏 外務省 欧州局 前中央アジア・コーカサス室長
4. 後 援：日本商工会議所/一般社団法人 日本貿易会/独立行政法人 中小企業基盤整備機構
5. 定 員：120名
6. 参加費：1,000円(税込)
7. 申 込：2月7日(水) 必着

●参加受付票はお送りしておりません。直接会場へお越しください。

※受付にて領収書をご用意します。

※お申込みの際、お手数ながら、領収書に記載する会社・団体名を正式名称でお知らせください。

※ご所属先欄に記載のない場合は、個人名でご用意いたします。

*準備の都合上、キャンセルされる場合は2月13日(火)正午までにご一報願います。

◆問合せ先：貿易研修センター 担当 富所(とみどころ)、脇田(わきた)

平成29年度 IIST・中央ユーラシア調査会公開シンポジウム

『中国とロシアのユーラシアアジア戦略と中央アジアの対応』

— 「一带一路」と「ユーラシア経済同盟」 —

主催：一般財団法人 貿易研修センター(IIST)

プログラム

平成30年2月14日(水) 13時00分～16時00分

於：東海大学校友会館「阿蘇の間」

開会 13:00～13:05

開会挨拶：西郷 尚史 一般財団法人貿易研修センター 専務理事

基調講演 13:05～13:30

袴田 茂樹 氏 新潟県立大学 教授/青山学院大学 名誉教授
IIST・中央ユーラシア調査会 座長
「ロシアから見た『一带一路』『ユーラシア経済同盟』と中央アジア」

基調講演 13:30～13:55

高原 明生 氏 東京大学大学院法学政治学研究科 教授
「習近平政権と『一带一路』構想」

パネルディスカッション 13:55～15:00

外務省報告:

田口 精一郎 氏 外務省 欧州局 前中央アジア・コーカサス室長
「中央アジア情勢の現状と日本外交」

パネラー

袴田 茂樹 氏、高原 明生 氏、田口 精一郎 氏

モデレーター兼コメンテーター

田中 哲二 氏 中央アジア・コーカサス研究所 所長/中国研究所 会長
IIST・中央ユーラシア調査会 代表幹事

<休憩 10分>

質疑応答 15:10～15:55

閉会 16:00

※発表者およびテーマは変更の可能性がございますこと、ご了承ください。

主 催：一般財団法人 貿易研修センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-20虎ノ門実業会館2階

Tel:03-3503-6621 <https://www.iist.or.jp/>